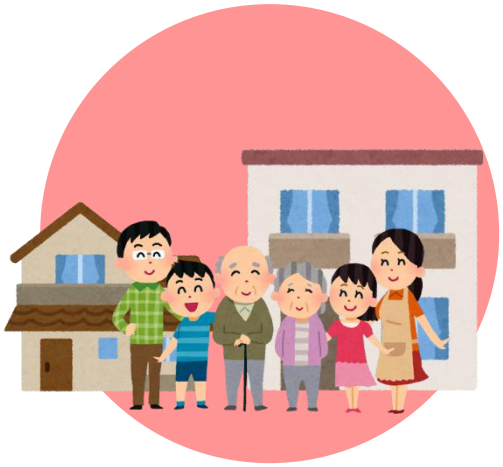
埼玉県ワンナイトステイ事業
（ホームステイ・ホームビジット）

受入家庭のみなさまへ

令和8年度

更新版





はじめに

「埼玉県ワンナイトステイ事業」にご関心をお寄せいただき、ありがとうございます。また、ご協力に感謝申し上げます。

この事業は、埼玉県、埼玉県国際交流協会および県内の市町村や国際交流協会等と、国際交流基金日本語国際センターの連携で実施しています。

みなさまのご家庭に受け入れていただくのは、日本語国際センターが行う研修に参加する「研修参加者」たちです。彼らは、それぞれの国の大学、中学･高校などの教育機関、語学学校などで日本語を教えている、外国人の日本語教師です。

言葉と文化は切り離せないものです。日本語を教えるなかで、日本の文化や社会を深く理解することはとても重要です。しかし、外国人である研修参加者にとって、それは簡単なことではありません。

ワンナイトステイ事業は、一般的な日本の家庭を体験することや、地域のみなさまとのふれあいを通して、研修参加者が「リアルな」日本を経験し、今後の教師としての活動に活かしていくことを目的としています。

短い期間ではありますが、このワンナイトステイ事業が、研修参加者にとってだけでなく、みなさまにとっても、かけがえのない出会いと経験になることを、願ってやみません。

埼玉県
埼玉県国際交流協会
国際交流基金日本語国際センター

もくじ

1．ワンナイトステイ事業について・・・・・ 1

2．受け入れの流れ・・・・・・・・・・・・・ 3

3．ご配慮いただきたいことについて・・・・ 6

4．その他・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

5．よくある質問・・・・・・・・・・・・・ 11

6．参考・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

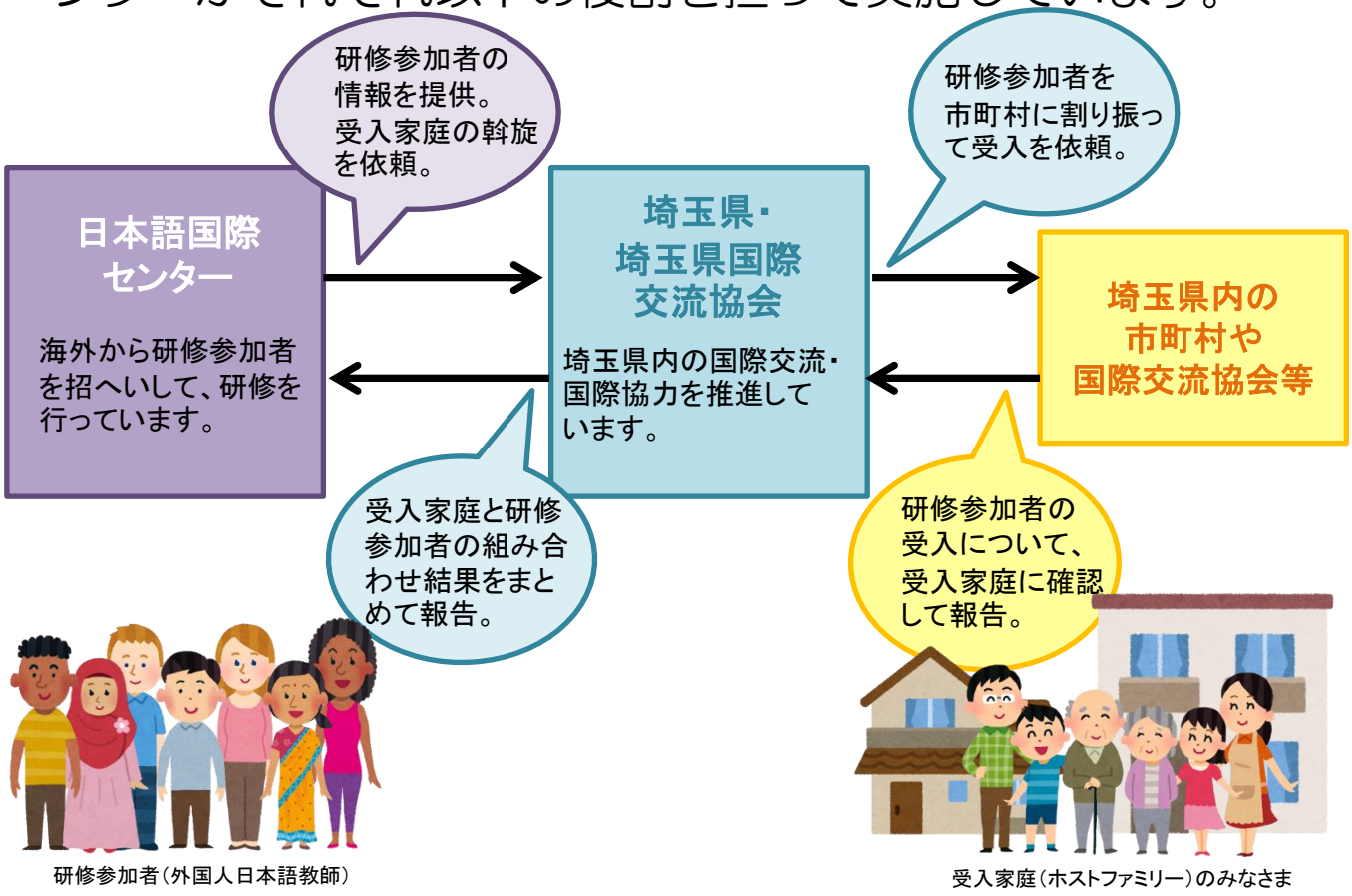
緊急連絡先

受け入れ中に、対応が難しいトラブル（研修参加者の急病や事故など）が発生した場合は、下記までご連絡ください。

日本語国際センター 管理室（24時間対応）
TEL：048-834-1180

1. ワンナイトステイ事業について

この事業は、埼玉県・埼玉県国際交流協会および県内の市町村や国際交流協会等と、国際交流基金日本語国際センターがそれぞれ以下の役割を担って実施しています。



研修参加者（外国人日本語教師）

受入家庭（ホストファミリー）のみなさま

●どんな人を受け入れる？

日本語国際センターで研修を受けている「研修参加者」です。さまざまな国・地域の人がいますが、全員、外国人の日本語教師です。日本語国際センターで、日本語や日本語の教え方について、研修を受けています。

●ワンナイトステイの期間、受け入れる人数は？

1泊2日のホームステイ（土曜日から日曜日まで）と宿泊無しのホームビジット（土曜日のみ）がございます。
原則として、ホームステイでは1名、ホームビジットでは2名の研修参加者を受け入れていただきます。

●どうすればホストファミリーになれる？

お住まいの自治体、または地域の国際交流協会などに問い合わせて登録してください。

ホストファミリー募集（埼玉県国際課のホームページ）
https://www.pref.saitama.lg.jp/a0306/kouryukyoryoku/onenightstay.html

●ホストファミリーになる条件は？

以下の４点をすべて満たすことが条件です。

1．埼玉県内に住んでいる。
2．単身ではなく、2名以上のご家庭※1である。
3．個室と寝具※2、食事の提供をしていただける。
4．食事や宗教の習慣などをご理解いただける。

※1 ワンナイトステイ当日もご家族みなさまで迎え入れてください。
※2 シーツ等は洗濯済みのものをご用意ください。
また、ホームビジット（宿泊無し）の場合は、個室と寝具のご用意は不要で、お食事のご提供のみお願いします。

●受け入れの前に研修参加者の情報はわかる？

ホストファミリーとして登録した自治体または国際交流協会から、研修参加者の「自己紹介書」を受け取ります。
「自己紹介書」には、名前、出身国･地域などに加えて、訪日回数、食事に関すること、喫煙の有無・苦手な動物・乗り物酔いの有無などが書かれています。
受け入れのために知りたい情報があれば、日本語国際センターに照会することが可能です。

●当日はどんなことをすればいい？

特別なお客様扱いは、不要です。
普段どおりのご家庭の雰囲気で迎えてください。



2. 受け入れの流れ

※当日の流れについては、ホームステイ（1泊2日）→P4
ホームビジット（宿泊無し）→P5へおすすみください。

随時

ホストファミリーとして登録する



●お住まいの市区町村の「ホストファミリー登録窓口」で登録してください。

ホストファミリー募集（埼玉県国際課のホームページ）
https://www.pref.saitama.lg.jp/a0306/kouryukyoryoku/onenightstay.html

1か月～2週間前

研修参加者とのマッチングをお待ちください。



●ホストファミリーの条件などを確認して、研修参加者をどのご家庭に受け入れていただくか、検討します。

●受け入れていただくことが決定したら、研修参加者の情報（「自己紹介書」）をお渡しします。

⚠ ワンナイトステイ前のトラブルを避けるため、事前に研修参加者と直接連絡したり接触したりすることは、ご遠慮いただいています。
研修参加者に関する質問などは、日本語国際センターにお問い合わせください。

約1週間前

研修参加者にホストファミリーの情報を渡します。



●登録の際にご提出いただいた「受入家庭登録申込書兼紹介書」を研修参加者に渡します。

●研修参加者に、ワンナイトステイ中の注意事項などを説明します。

●ホームステイ（１泊2日）場合

当日
（土曜日）
※午前中

対面会にお越しください。



●日本語国際センターで、対面会（研修参加者との引き合わせ）を行います。
●そのあとは、ご家族と研修参加者とで自由にお過ごしください。
●日本語国際センターの最寄り駅は、JR京浜東北線「北浦和」駅です。（西口より徒歩8分）
●お車でお越しいただくことも可能です。
センター内管理室で「駐車許可証」を受け取り、駐車してください。

当日
（日曜日）

研修参加者とお過ごしください。



●研修参加者との会話は、できるだけ日本語でお願いします。
●ホストファミリーの“生の”日本語にふれたり、実際の日本の生活を体験することで、日本の文化・習慣に親しむことができます。
●遅くとも23時までに日本語国際センターに戻るよう、ご自宅や外出先の最寄り駅、または日本語国際センターまで付き添いをお願いします。（具体的な帰館時間は、研修参加者とご相談ください。）

過ごし方の例

※ステイ中に体験、訪問した場所等の事例は15ページをご覧ください。
なお、体験、訪問は必須ではありません。

土曜日

対面会
自己紹介など
研修参加者と帰宅
昼食
〈自宅で過ごす/外出する〉
夕食

日曜日

朝食
〈自宅で過ごす/外出する〉
昼食
〈自宅で過ごす/外出する〉
（場合によっては夕食）
研修参加者を最寄り駅まで送る

●ホームビジット（宿泊無し）の場合

当日
（土曜日）

対面会にお越しいただき、研修参加者とお過ごしください。



- ●午前中に日本語国際センターで、対面会（研修参加者との引き合わせ）を行います。
- ●そのあとは、ご家族と研修参加者とで自由にお過ごしください。
- ●日本語国際センターの最寄り駅は、JR京浜東北線「北浦和」駅です。（西口より徒歩8分）
- ●お車でお越しいただくことも可能です。センター内管理室で「駐車許可証」を受け取り、駐車してください。



- ●研修参加者との会話は、できるだけ日本語でお願いします。
- ●ホストファミリーの“生の”日本語にふれたり、実際の日本の生活を体験することで、日本の文化・習慣に親しむことができます。
- ●遅くとも土曜日の23時までに日本語国際センターに戻るよう、ご自宅や外出先の最寄り駅、または日本語国際センターまで付き添いをお願いします。（具体的な帰館時間は、研修参加者とご相談ください。）

過ごし方の例

※日本での生活をより深く体験していただくため、外出だけでなく、ご家庭での交流も取り入れてください。

土曜日

対面会
自己紹介など
研修参加者と帰宅
昼食
〈自宅で過ごす/外出する〉
（場合によってはタ食）
研修参加者を最寄り駅まで送る

3. ご配慮いただきたいことについて

●外出時の費用（交通費、食費、入場料等）

研修参加者の分は、本人が支払います。国･地域によって物価水準が異なるため、場合によっては過度な負担となることもあります。できる限り、高額になりすぎないようにお願いします。
事前に、どれくらいの費用がかかるか、研修参加者に説明いただくと安心します。
参考までに、日本語国際センターの食費の基準では、1食あたり600～1,000円としています。一部の食費以外、原則として現金の支給は行っていません。

●生活の習慣など

日本の家にはじめて入る研修参加者も少なくありません。日常生活や習慣（食事のしかた、布団の上げ下ろし、風呂場やトイレの使い方等）について、必要に応じて具体的に教えてください。
また、イスラム教徒の研修参加者は、日に数回、お祈りの時間をとる場合があります。人によって個人差がありますので、日本語国際センターでは、お祈りの時間や回数については、本人から受入家庭のみなさまに説明するよう伝えています。なお、お祈りのために別にお部屋をご用意いただく必要はありません。

●喫煙・ペット他

研修参加者の「自己紹介書」に記載があります。
ただし、許容度には個人差があります。



●食事について

研修参加者の「自己紹介書」に記載があります。受け入れの前にご確認ください。研修参加者が「ベジタリアン」「イスラム教徒」などである場合は、食事について以下の点にご注意、ご配慮をお願いします。

ベジタリアン(菜食主義者)の場合

×	<u>食べない・食べられないもの</u> ・肉、魚（エキスや出汁を含む） ・卵（人によってはOK） ・乳製品（人によってはOK）	
○	朝食	野菜のサンドイッチ、ごはん、みそ汁（昆布だし）、おもち、サラダ、くだもの　など
	昼食 夕食	トマトソースのスパゲッティ（ベーコンなどは入っていないもの）、ガーリックトースト、ポテトフライ、野菜ピザ、山菜うどん（昆布だし）、温野菜、野菜の煮物（昆布だし）、豆腐、田楽、パンなど ※野菜のてんぷら（かつおだしのてんつゆではなく塩で）、野菜のフライなどは、卵が食べられない場合は× ※卵がOKの場合は、オムレツなども。

イスラム教徒の場合

×	<u>食べない・食べられないもの</u> ・豚肉（ハム、ベーコン、ラード、豚肉エキスを含む） ・アルコール（人によっては「みりん」を使った料理も×） ※人によっては、ハラール*以外の鶏肉や牛肉も遠慮する場合があります。 *ハラールとは、イスラム教の教えに基づいて処理された食材や料理のことをいいます。	
○	朝食	ごはん、おにぎり（たらこ・ツナなど）、みそ汁、目玉焼き、おもち、和菓子、くだもの　など
	昼食 夕食	ごはん、漬物、スパゲッティ、ツナのサンドイッチ、おでん、煮魚、すし、てんぷら、オムレツ、鶏肉の唐揚げ、焼き鳥（ハラールでない鶏肉もOKの場合）　など

その他の宗教や信条、食べ物アレルギーなどの理由から、食事制限を設けている場合もあります。「自己紹介書」の記載をご確認ください。

●さまざまな習慣について

文化や習慣のちがいから、日本ではあまりなじみのない行動をとる研修参加者もいるかもしれません。
戸惑うこと、疑問に思うことがありましたら、お互いをよく理解するため、本人に事情をお聞きください。

過去の事例：

「・・・飲むのはお湯だけ？！」

食べ物アレルギーや宗教上の理由で食べられないものはありませんでしたが、お茶やコーヒーなどは一切飲まず、ずっと飲み物はお湯だけでした。身体の調子が悪いのかと心配になってたずねたところ、その研修参加者は「習慣として、カフェインを取らないようにしている」とのことでした。

イスラム教のお祈りに必要なもの

イスラム教徒の研修参加者を受け入れたときのことです。日に数回、お祈りをすることは知っていましたが、そのときに「水道はありますか」と言われてびっくり。理由を聞いたら、お祈りのときは手や足を清めるために水を使うそうです。
家にいるときは、お風呂場を使ってもらいました。

食事マナーも所変われば・・・

家でいっしょにごはんを食べたとき、とてもおいしいと言ってくれました。でも、すべての料理を全部混ぜるようにして食べていたので、とても気になりました。思い切って聞いてみたら、国の習慣でそういった食べ方をするのが一般的なんだそうです。これがきっかけで、国によって異なる食事のマナーについて、話がはずみました。

4. その他

●保険

研修参加者は、日本滞在中の不慮の事故や病気に備えて、海外旅行保険（傷害、治療、賠償責任等）に加入しています。ご不明な点がありましたら、日本語国際センターにご連絡ください。
また、 研修参加者を自家用車に同乗させる場合は、対人賠償を含む任意自動車保険への加入をお願いいたします。

●個人情報や写真・動画の取り扱い

日本語国際センターでは、個人情報保護の観点より、研修参加者の連絡先をお伝えしたり、取次ぎをしたりすることはしていません。ワンナイトステイ事業のあとに研修参加者と連絡を取りたい場合は、ステイ中に研修参加者本人にその旨を伝えて連絡先を交換してください。
また、研修参加者の写真・動画を撮影する場合や撮影した写真・動画や個人情報をSNS等に掲載する場合は、双方で合意した上で行ってください。
なお、ホストファミリー登録およびワンナイトステイの実施、連絡調整、安全管理のため、ご提供いただいた個人情報（受入家庭登録申込書兼紹介書に記載された情報）は、独立行政法人国際交流基金日本語国際センター、埼玉県、関係市町村および公益財団法人埼玉県国際交流協会において共有し、事業運営に必要な範囲で利用しますので、あらかじめご了承ください。埼玉県および独立行政法人国際交流基金の個人情報保護に関する取組については、以下をご確認ください。
https://www.pref.saitama.lg.jp/a0304/kojinseido/index.html
https://www.jpf.go.jp/j/privacy/

4. その他

●謝礼

ワンナイトステイ事業は、みなさまの善意によって実施されているものですが、ご厚意に対する謝礼として対面会で日本語国際センターにお越しいただいた際に、ホームステイ（1泊2日）の場合、１家庭(原則として1名受け入れ)につき5,000円、ホームビジット（宿泊無し）の場合、1家庭(原則として２名受け入れ)につき3,000円をお渡ししています。受入の際のご家庭での準備等（食材購入、寝具のクリーニングなど）にご活用ください。

●緊急時について

天候や災害等の影響で、やむを得ずワンナイトステイを中止・延期する場合があります。あらかじめご了承ください。

●お願い

研修参加者は、日本語や日本の生活・文化を学ぶために来日しています。また、参加者一人ひとりに異なる信条や考え方があります。お互いが安心して交流できるよう、宗教・政治活動・各種団体への勧誘や、商品の販売などを目的とした行為はお控えください。研修参加者が安心してホームステイを楽しめるよう、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

5. よくある質問

Q1 受け取った「自己紹介書」に質問があるのですが・・・

A1 直接、日本語国際センター・ワンナイトステイ事業担当者にお問い合わせください。
TEL：０４８-８３４-１１８２
※土・日・祝祭日のぞく9：30～17：30
Eメール：urawakenshu@jpf.go.jp
※メールの件名を「ワンナイトステイ（研修名）問い合わせ」としてください。
参加者の来日前など、問い合わせのタイミングによってはお返事に時間をいただく場合があります。

Q2 やむをえない理由（病気など）により、受け入れをキャンセルしたいのですが・・・

A2 ホストファミリーとして登録した市町村にご連絡ください。
前日・当日のキャンセルは、日本語国際センター管理室までご連絡ください。
TEL：０４８-８３４-１１８０

Q3 家にあいている部屋がないので、
子ども部屋やリビングに寝てもらってもいいですか。

A3 研修参加者は２０代～５０代の大人です。生活習慣の違いから戸惑うことも多いため、宿泊用の個室を提供できるご家庭に受け入れをお願いしています。ただし、ホームビジットは宿泊がないため、個室のご準備がなくても問題ありません。

Q4 研修参加者におみやげをあげてもいいですか。

A4 おみやげは原則として遠慮させていただいていますが、思い出にどうしてもという場合は、高価なものは避けてください。

Q5 何語で話せばいいですか。

A5 できるだけ日本語でお願いします。
場合に応じて、やさしい表現に言い換えたり、ゆっくりと話したりなど、工夫が必要になるかもしれませんが、日本語でのコミュニケーションをお互いに楽しんでいただければ幸いです。

Q6 受入の前に、研修参加者と直接連絡をとって、当日のスケジュールや当日行きたい場所、やりたいことなどを聞きたいのですが・・・。

A6 無用なトラブルを避けるため、事前に直接やり取りすることは、ご遠慮いただいています。当日、直接会ってから相談等をしてください。

Q7 研修参加者と外食や外出をする際、支払いはどうすればいいですか。

A7 研修参加者本人の分は、本人が支払います。国･地域、人によって、物価に対する感覚が異なりますので、外食や外出の際に、どのくらい費用がかかるか、事前に説明があると安心します。

Q8 研修参加者が帰国したあとも連絡をとっていたのですが、トラブルになってしまいました。
どうすればいいですか。

A8 研修参加者帰国後のトラブルについては、日本語国際センターでは責任を負いかねます。

6. 参考

日本語国際センターの研修では、日本語や日本語の教え方に関する授業のほかに、「文化体験プログラム」として、以下のプログラムを実施しています。
※研修によって異なります。一部は希望選択制の場合があります。



埼玉見学（大宮 盆栽美術館見学、秩父 紙すき体験、川越 街歩き等）／東京見学（東京スカイツリー見学、浅草散策等）／茶道／華道／和太鼓／浴衣の着付／津軽三味線／小学校・中学校・高校訪問／地方研修（金沢、日光、関西）など









日本語国際センターでは、ワンナイトステイ実施の数日前に、「ホームステイ・ホームビジット説明会」の時間を設けて、研修参加者に対して、以下のことを説明しています。（詳細は次ページ）



- 受入家庭のみなさまは、ボランティアで受け入れてくださること。
- ワンナイトステイ中の外食、外出にかかる費用について、自分の分は自分で支払うこと。
- 宗教や習慣については、自分で説明すること。
- お風呂やお手洗いを使うときは、受入家庭の方に使用方法を確認すること。
- 「受入家庭紹介書」は日本語国際センターの外に持ち出さないこと。SNSやメール等で他人に共有しないこと。
- ワンナイトステイ中に受入家庭のみなさまと写真や動画を撮るときは許可を取ること。撮影した写真や動画をSNS等に載せる場合も、必ず事前に許可を取ること。

研修参加者への注意事項

1. 受入家庭（ホストファミリー）は、ボランティアの人たちです。ホテルや旅館ではありませんから、みなさんはお客様ではありません。特別なごちそうも、おもてなしもありません。ふつうの日本人のふつうの生活を体験しましょう。必要に応じて、お皿洗いなどの家事を手伝いましょう。

2. 一つの家庭にひとりずつホームステイをする約束をしています。自分の友達やホームステイに参加しない他の研修参加者を一緒に連れて行ってはいけません。

3. ホストファミリーの人たちと話すときは、できるだけ日本語で話しましょう。
スマートフォンを使いすぎないで、ホストファミリーとの生活を楽しみましょう。

4. ホームステイの間、必要なお金は自分で払ってください。ただし、ホストファミリーの家で出された食事は、お金を払う必要はありません。

5. ホストファミリーは、みなさんが宗教の理由などで食べられないものの情報を持っています。でも、もしホストファミリーの家で食べられないものが出されたときは、その理由を話して「食べられないです」と言ってください。

6. ホストファミリーの家の電話は使わないでください。もし、電話をしなければならないときは、理由を話してお願いしてください。

7. お風呂やトイレの使い方は、家によってちがいます。また、生活のことで、わからないことがあったら、ホストファミリーに聞きましょう。

8. たばこを吸う人は、吸う前に、ホストファミリーに「たばこを吸ってもいいですか」と聞きましょう。

9. ホストファミリーと写真や動画を撮りたいとき 、また、撮った写真を友達・自分の家族に送りたい場合は、必ずホストファミリーに「いいですか」と聞いてください。

10. ホームステイの時に撮った写真や、その思い出を書いた文章をSNSにアップしたい場合は、必ず、ホームステイが終わる前に、アップしたい内容をホストファミリーに見せて「いいですか」と聞いてください。「いいですよ」と言われた時だけ、その内容をSNSにアップすることができます。ホームステイが終わった後は、ホームステイのことについてSNSにアップしないでください。

11.ホームステイが終わってセンターに帰ったあと、ホストファミリーにお礼の手紙やメールを送ると、とても喜ばれます。

12. 受入家庭紹介書は、センターの外に持ち出さないでください。住所などの個人情報が書いてあるので、他の人に見せないでください。写真を撮って友達や家族に送ったり、SNSにアップすることも絶対にしないでください。

受入家庭のみなさまからのコメント（事後アンケートより抜粋）

●受け入れは初めてでしたが、笑顔を大切に楽しむことができました。
国籍や宗教が異なっていても心が通じ合えたことは最大の喜びです。
今回の受け入れをきっかけに、また同様の機会を得られればと思っております。
●イスラム教の方だったので、事前にパンフレットを読み直してからお会いしました。
個人で違いがあるので、宗教・食べ物についてはよく話し合いました。
毎回知らなかった各国の文化や考え方を学べます。楽しく過ごせました。
●国のことや言葉について知れてとても興味深かったです。食文化についても教えてもらい、一緒に料理をしたのが良い思い出になりました。息子のつたない日本語も一生懸命受け止めてくれて仲良くなっていく姿に感動しました。
●公園に行ったり、料理を作ったり、洗い物もいつもやってくださり、とても楽しい2日間でした。

研修参加者からのコメント（事後アンケートより抜粋）

●初めて畳の部屋で寝たり、布団を使ったり、家で仏壇も初めて見ました。優しくしてもらったから、いつかまた訪問したくなりました。
●とても暖かくて優しいファミリーでしたが、私が手伝いときとか自分で何かしたいときは一気に断られました。たぶんそれは異文化理解なのですがときどきちょっと不安に感じました。
●私のホストファミリーはとても優しい夫婦でした。彼らは私のためにベジタリアン料理をどうやって作ればいいのか心配していて、私に頼んで一緒に作ることに決めました。そして彼らはそれをとても楽しんでいました。
●日本史や日本文化についてよく話してくれました。わからないことがあったら、ゆっくり簡単で説明してくれて、私が日本語を間違えても皆は気にせずにおしゃべりしてくれました。

ホームステイ中の活動について（事後アンケートより抜粋）

●体験したこと

BBQ、温泉、ラジオ体操、工場見学、カラオケ、茶道、合気道、ピクニック、キャンプ、料理教室、たこ焼きパーティー、文化祭見学 など

●訪問した場所

・買い物（スーパー、ショッピングモール、商店街、本屋など）　・神社、寺、城
・博物館、美術館、資料館、図書館、文化センター　・レストラン（そば、うどん、ラーメン、回転寿司、お好み焼きなど）　・公園　・お祭り
・川、林、山　・動物園、水族館　・プラネタリウム
・ホストファミリーの実家、親戚宅　など

※体験、外出する計画を立てていただくことは必須ではありません。
ご自宅、ご自宅周辺でのんびり過ごしたというケースも多くあります。

日本語国際センターへのアクセス

電車でお越しの場合：JR京浜東北線 北浦和駅西口より徒歩8分

お車でお越しの場合：国道17号線利用



国際交流基金日本語国際センター
〒330-0074
埼玉県さいたま市浦和区北浦和5-6-36
TEL：048-834-1180
E-mail：urawakenshu@jpf.go.jp
https://www.jpf.go.jp/j/urawa/

JAPANFOUNDATION 国際交流基金 日本語国際センター